

第114期 報告書

[平成25年4月1日～平成26年3月31日]

Chemical Products

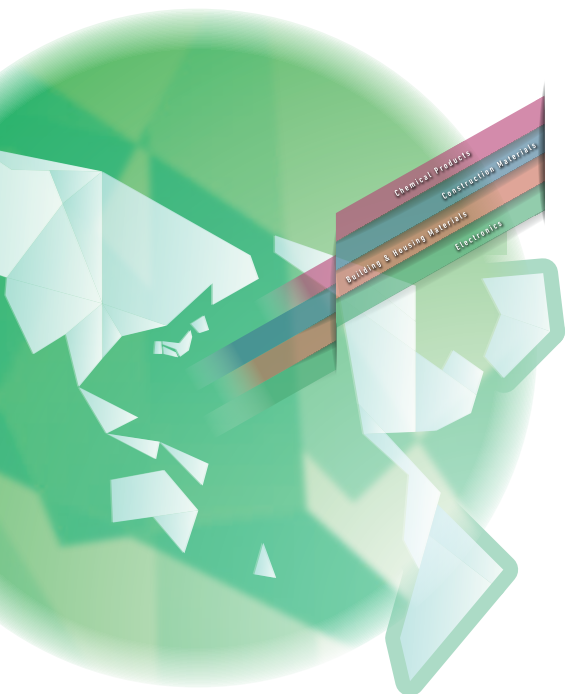
Construction Materials

Building & Housing Materials

Electronics

アイカ工業株式会社

証券コード 4206



CONTENTS

■ 株主の皆様へ	2
■ セグメント別のご案内	3
■ 財務情報	5
連結決算	
連結貸借対照表／連結損益計算書	
連結株主資本等変動計算書／連結キャッシュ・フロー計算書	
単独決算	
貸借対照表／損益計算書	
株主資本等変動計算書	
■ 企業活動のご案内	9
■ 会社の概要	12
■ 株式の状況	13
■ 株主メモ	14

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第114期(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緊急経済対策による公共投資の増加に加え、金融緩和を受けた円安・株高の定着が、企業業績の回復、雇用拡大へと繋がり、また、消費税率引上げ前の駆け込み需要による個人消費の増加も見られ、景気は回復・拡大基調で推移いたしました。

国内建築市場におきましては、景況感の改善に加え、住宅ローン金利や資材価格の先高感や、消費税率引上げ前の駆け込み需要などが個人の住宅取得を後押しするなど、住宅関連は好調に推移いたしました。また、非住宅関連につきましても、商業施設、医療・介護施設などを中心に堅調に推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化、市場ニーズにマッチした新商品開発と機能材料事業の強化などを推進いたしました。また、当社が平成24年12月に株式を取得いたしました、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社の業績が、第1四半期連結会計期間より組み入れられ、連結業績に大きく寄与いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は141,096百万円(前連結会計年度比39.2%増)、営業利益は14,527百万円(前連結会計年度比20.4%増)、経常利益は14,748百万円

(前連結会計年度比16.7%増)、当期純利益は8,221百万円(前連結会計年度比7.7%増)となりました。

今後の景気動向につきましては、各種経済効果などを背景に、所得環境の改善や投資の増加傾向が続き、景気の回復・拡大基調が続くことが期待されますが、国内では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や、海外では、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念、回復が遅れている欧州経済など、景気の下振れリスクが残っています。

当社グループは、このような経営環境を十分認識し、非住宅市場への取り組み強化、リフォーム・改修市場等、成長市場の取り込み、海外事業と機能材料事業の強化による更なる成長の実現、顧客ニーズにマッチしたスピード感ある新商品開発、ならびにアイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社およびその子会社とのシナジーの発現を図ってまいります。

また、当社は、平成26年4月1日をもちまして、電子セグメントのうち、プリント配線板事業のすべてを、会社分割の方法により、RITAエレクトロニクス株式会社(旧商号:株式会社NMCファンド18)に譲渡いたしました。今後も経営資源の選択と集中を進め、持続的に事業を拡大しうる体制を構築してまいります。

当社グループは、コンプライアンス(法令遵守)とCSR(企業の社会的責任)を重点方針に掲げ、社会から一層信頼される企業を目指し邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役会長

渡辺 修



代表取締役社長

小野 勇治

化成品セグメント

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤が低迷したものの、合板用接着剤、集成材用接着剤、産業用アクリル樹脂系接着剤、ならびに新規分野として取り組んでいる太陽電池・自動車向け接着剤が順調に推移いたしました。一方、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジヨリパット」や橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」が、戸建市場の活況と大手住宅メーカーでの採用増加、および改修市場への積極的な展開などにより、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、既存ユーザーを中心に、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は68,608百万円(前連結会計年度比104.2%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)4,100百万円(前連結会計年度比65.9%増)となりました。



ジヨリパット (外装・内装仕上塗材)

物件名: 海峯魯 (KAIHOURO)

設計: 有限会社インテリアオスキ 小薄 徹

撮影: ENDEAVOR 江藤 徹



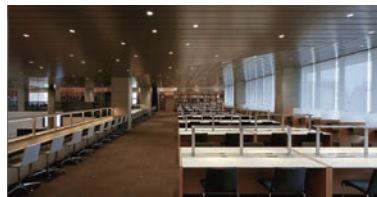
環境配慮型接着剤
Fフォースター(F☆☆☆☆)対応
アイカエコエコボンド

建築材セグメント

建築材セグメントの主力市場である非住宅市場では、建設現場での工事遅れなどの影響がありましたが、教育施設の改修や、大型商業施設の新設・リニューアル等に注力した結果、売上高は堅調に推移いたしました。

汎用的なメラミン化粧板、化粧ボードは伸び悩みましたが、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、0.7mmという薄さで不燃性を兼ね備えた薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」、メラミン化粧板や化粧ボードなどと同柄で様々な内装部位に施工できる粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」は、デザイン性、コスト・機能の両立、安心・安全などのニーズを背景に売上を伸ばすことができました。また、海外においても、インド、中国、東南アジア諸国を中心に売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は30,509百万円(前連結会計年度比5.0%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)6,283百万円(前連結会計年度比12.3%増)となりました。



CEL SUS (セルサス) メラミン化粧板

物件名: 東京理科大学葛飾キャンパス 図書館

建築設計: 株式会社日建設計 岩崎克也、竹内 稔、石崎健一

家具デザイン: 株式会社日建スペースデザイン 伊豆省洋、鈴木規子、芝崎裕子

家具製作: 紀伊國屋書店 ニシザキ工業

撮影: 有川幸雄



Altyno (オルティノ)

物件名: アークヒルズ サウスタワー

設計: 森ビル株式会社 株式会社入江三宅設計事務所

施工: 清水建設株式会社

住器建材セグメント

不燃化粧材「セラール」は、住宅市場では、新築およびリフォーム市場においてキッチン・洗面などの水回り空間での採用を増やすことができました。非住宅市場では、教育施設、医療・介護施設などにおいて、新築から改修用途まで幅広く需要をとらえ、順調に売上を伸ばすことができました。

メラミン化粧板を曲面加工したポストフォーム商品は、住宅およびマンションのキッチン扉や、店舗、医療・介護施設用什器を中心に好調に推移し、天然水晶を原材料にした高級人造石カウンター「フィオレストーン」は、豊富なデザインや優れた機能が評価され、集合住宅のキッチンカウンターを中心に採用を大幅に増やすことができました。また、医療・介護施設、高齢者住宅に適した機能引戸「U.D.(ユニバーサルデザイン)コンフォートシリーズ」は、サービス付高齢者向け住宅の着工増と個人クリニックでの採用増により、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は36,506百万円(前連結会計年度比9.1%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)5,877百万円(前連結会計年度比2.6%増)となりました。



CERARL (セラール)

物件名：箱根ロープウェイ大涌谷駅舎
 事業主：箱根ロープウェイ株式会社
 設計：株式会社小田急エンジニアリング



FioreStone (フィオレストーン)

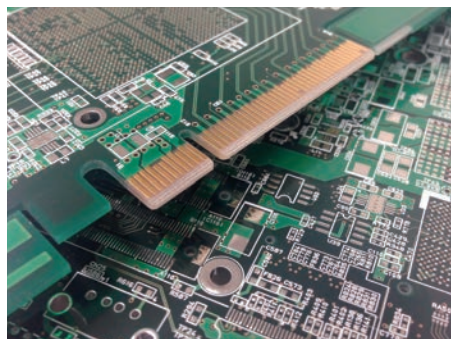
物件名：ウェリス西天満
 (分譲マンション・モデルルーム)
 施工主：NTT都市開発株式会社

電子セグメント

プリント配線板は、開発案件の減少によりパターン設計が減少いたしました。半導体関連、工作機械、医療機器などの分野で回復基調にあり、順調に推移いたしました。

電子材料は、光学フィルム向けUV(紫外線)硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」が、タッチパネル向けを中心に堅調に推移いたしました。ハードコートフィルム「ルミアート」は、海外メーカーとの競争激化などにより、前年を下回る結果となりました。

このような結果、売上高は5,471百万円(前連結会計年度比4.8%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)588百万円(前連結会計年度比23.8%増)となりました。



アイカイトロン 配線板 (高速信号伝送基板)

連結決算

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	83,628	74,573
現金および預金	23,772	18,981
受取手形および売掛金	45,634	42,936
たな卸資産	9,882	9,403
繰延税金資産	990	1,023
その他	3,536	2,413
貸倒引当金	△187	△184
固定資産	48,183	44,728
有形固定資産	27,923	25,987
無形固定資産	7,269	7,565
投資その他の資産	12,990	11,175
投資有価証券	11,722	9,836
繰延税金資産	197	66
その他	1,143	1,746
貸倒引当金	△72	△474
資産合計	131,812	119,301

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
売上高	141,096	101,353
売上原価	103,437	72,339
売上総利益	37,658	29,014
販売費および一般管理費	23,131	16,944
営業利益	14,527	12,069
営業外収益	1,028	956
営業外費用	806	384
経常利益	14,748	12,640
税金等調整前当期純利益	14,748	12,640
法人税、住民税および事業税	5,658	4,865
法人税等調整額	292	△25
少数株主損益調整前当期純利益	8,797	7,801
少数株主利益	576	168
当期純利益	8,221	7,633

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	33,338	31,880
支払手形および買掛金	21,302	22,074
電子記録債務	1,087	—
短期借入金	1,312	858
未払法人税等	2,889	2,907
賞与引当金	1,555	1,524
その他	5,190	4,515
固定負債	4,084	2,415
長期借入金	1,194	422
繰延税金負債	1,495	712
退職給付引当金	—	403
退職給付に係る負債	597	—
その他	797	876
負債合計	37,422	34,295
純資産の部		
株主資本	86,591	80,746
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	65,765	60,023
自己株式	△2,334	△2,437
その他の包括利益累計額	4,634	1,103
その他有価証券評価差額金	2,206	1,420
繰延ヘッジ損益	1	△4
為替換算調整勘定	2,519	△311
退職給付に係る調整累計額	△93	—
新株予約権	77	47
少数株主持分	3,085	3,108
純資産合計	94,389	85,006
負債純資産合計	131,812	119,301

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
平成25年4月1日残高	9,891	13,269	60,023	△2,437	80,746	1,420	△4	△311	—	1,103	47	3,108	85,006
連結会計年度中の 変動額													
剰余金の配当			△2,479		△2,479								△2,479
当期純利益			8,221		8,221								8,221
自己株式の取得				△4	△4								△4
自己株式の処分		0		107	107								107
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						786	6	2,831	△93	3,530	29	△23	3,537
連結会計年度中の 変動額合計	—	0	5,742	102	5,845	786	6	2,831	△93	3,530	29	△23	9,382
平成26年3月31日残高	9,891	13,269	65,765	△2,334	86,591	2,206	1	2,519	△93	4,634	77	3,085	94,389

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

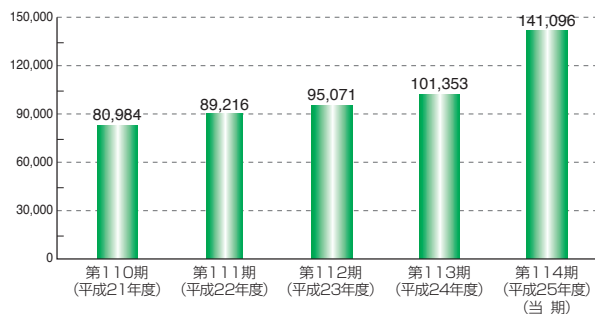
● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,228	9,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,851	△18,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,950	△2,363
現金および現金同等物に係る換算差額	363	64
現金および現金同等物の増減額	4,791	△11,133
現金および現金同等物の期首残高	18,981	30,114
現金および現金同等物の期末残高	23,772	18,981

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

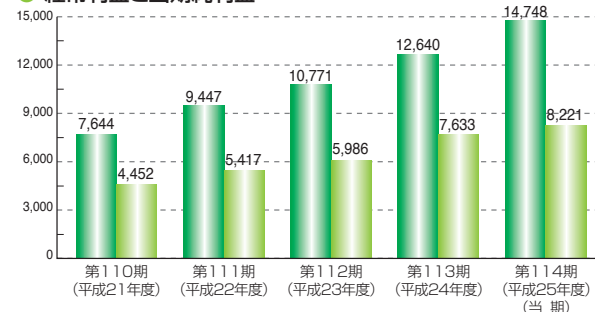
● 売上高

(単位:百万円)



● 経常利益と当期純利益

(単位:百万円)



単独決算

●貸借対照表

科 目	第114期	第113期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	63,847	60,186
現金および預金	16,852	13,757
受取手形および売掛金	37,369	36,628
たな卸資産	4,558	4,221
繰延税金資産	797	871
その他	4,269	4,731
貸倒引当金	—	△24
固定資産	45,595	43,527
有形固定資産	14,979	14,565
無形固定資産	424	423
投資その他の資産	30,191	28,538
投資有価証券	10,923	9,077
関係会社株式	17,613	17,731
その他	1,726	2,204
貸倒引当金	△72	△474
資産合計	109,442	103,714

●損益計算書

科 目	第114期	第113期
	(平成25年4月1日～平成26年3月31日)	(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
売上高	101,195	95,491
売上原価	73,665	69,823
売上総利益	27,530	25,668
販売費および一般管理費	16,237	15,440
営業利益	11,293	10,228
営業外収益	1,125	1,177
営業外費用	319	269
経常利益	12,099	11,136
特別利益	—	2,603
税引前当期純利益	12,099	13,739
法人税、住民税および事業税	4,229	4,202
法人税等調整額	139	△45
当期純利益	7,730	9,583

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	第114期	第113期
	(平成26年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	24,978	25,636
支払手形および買掛金	16,530	18,689
電子記録債務	1,601	—
未払法人税等	2,372	2,482
賞与引当金	1,268	1,261
その他	3,206	3,203
固定負債	1,485	1,276
長期借入金	—	231
その他	1,485	1,044
負債合計	26,464	26,912
純資産の部		
株主資本	80,694	75,340
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,277	13,277
利益剰余金	59,859	54,608
自己株式	△2,334	△2,437
評価・換算差額等	2,206	1,414
その他有価証券評価差額金	2,205	1,419
繰延ヘッジ損益	1	△5
新株予約権	77	47
純資産合計	82,978	76,801
負債純資産合計	109,442	103,714

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●株主資本等変動計算書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	利益準備金	その他利益 剰余金(注)							
平成25年4月1日残高	9,891	13,277	—	1,622	52,985	△2,437	75,340	1,419	△5	1,414	47	76,801
事業年度中の変動額												
剰余金の配当					△2,479		△2,479					△2,479
当期純利益					7,730		7,730					7,730
自己株式の取得						△4	△4					△4
自己株式の処分			0			107	107					107
株主資本以外の項目の 事業年度中の 変動額(純額)								786	6	792	29	822
事業年度中の変動額合計	—	—	0	—	5,250	102	5,353	786	6	792	29	6,176
平成26年3月31日残高	9,891	13,277	0	1,622	58,236	△2,334	80,694	2,205	1	2,206	77	82,978

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) その他利益剰余金の内訳

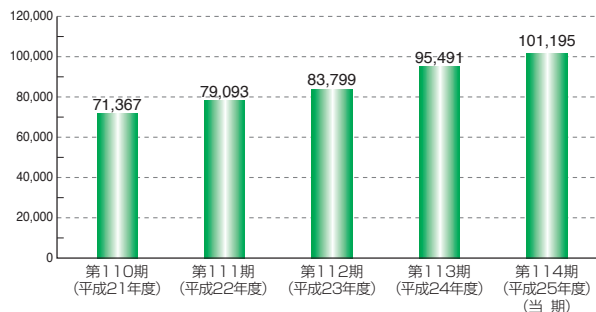
(単位:百万円)

	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	合計
平成25年4月1日残高	253	16,976	35,755	52,985
事業年度中の変動額				
圧縮積立金の積立	28		△28	—
圧縮積立金の取崩	△0		0	—
剰余金の配当			△2,479	△2,479
当期純利益			7,730	7,730
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計	28	—	5,222	5,250
平成26年3月31日残高	281	16,976	40,978	58,236

◎記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

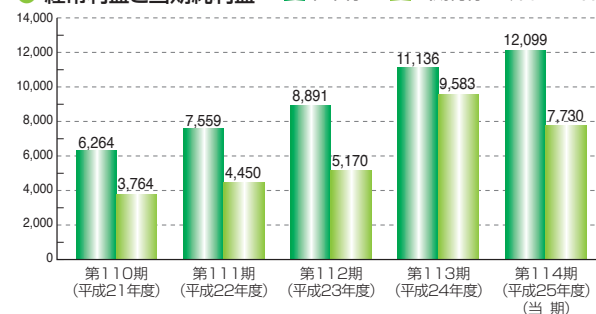
●売上高

(単位:百万円)



●経常利益と当期純利益

■経常利益 ■当期純利益 (単位:百万円)



当社ホームページ「第35回2014日本BtoB広告賞」ウェブサイト<コーポレートサイト>特別賞受賞

2014年1月、当社は、ホームページをリニューアルいたしました。
スマートフォンやタブレット端末の普及により、多くのお客様がウェブサイトを通じて情報を得るケースが増えています。

リニューアルされたホームページでは、更なる情報の整理と拡充、検索性の向上、様々なウェブ環境への対応、更新をスムーズにする情報の一元化を実現しました。

『FIND a “FACE” CREATE a “SPACE”―表情を見つける、“空間”を創る。』をコンセプトに、お客様とともに理想の“表情”を見つけ、“空間”を創造するベストパートナーとしてのアイカ工業を目指しています。

東京・名古屋・大阪・福岡各支店のショールームの概要をご覧いただけるバーチャルショールームや、住宅の外壁、リビング、キッチンなどのカラーシミュレーションなど臨場感に加え、お客様に楽しく柄をお選びいただけるコンテンツとなっています。

今回、これらが高く評価され、一般社団法人BtoB広告協会主催「第35回2014日本BtoB広告賞」において、ウェブサイト<コーポレートサイト>の部で、特別賞を受賞しました。

今後も掲載内容の更なる拡充、検索性の向上など、お客様のお役に立てるホームページとしてまいります。



第60回 アイカ現代建築セミナー

講師：隈 研吾
講演テーマ：小さな建築

<東京会場>

日時：2014年7月17日(木)
会場：メルパルクホール

<大阪会場>

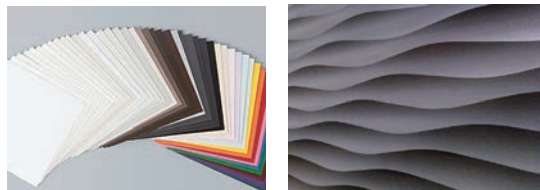
日時：2014年7月25日(金)
会場：NHK大阪ホール



粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」

「オルティノ」は樹脂フィルムで柔軟性が高く、裏面には粘着剤が塗布されており現場で様々な形状の下地に施工することができます。

今回、現在の木目を中心とした96点に単色47点を加え、バリエーションを充実いたしました。また、木目柄では、建築内装で使用が増えているアルミルーバー、装飾リブ材を加え、“選べる”、“使いやすい”化粧材へと強化いたしました。



福岡支店新社屋竣工 ショールームオープン

2014年2月4日、新福岡支店(福岡市博多区東比恵1丁目60番)が完成し竣工式を行いました。

1階のショールーム「スペースφ」では、メラミン化粧板やジョリパットの色・柄、パターンを大きなサイズで確認できるコーナーや新しい機能を付加した商品を展示するコーナーなどで構成されています。また、LED照明を使用し、空調に全熱交換器を採用するなど環境に配慮した設計となっています。

九州エリアの営業力強化を進めるとともに、お客様との結びつきの一層の強化、向上を図ってまいります。

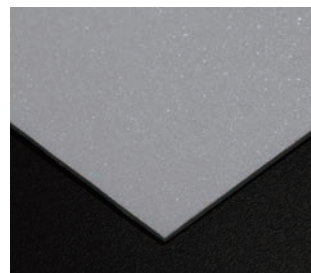


新パール意匠メラミン化粧板

近年、住宅市場では、自動車の塗装や化粧品のパッケージなどに用いられ、高級感を連想させる輝度の高い意匠が求められています。

「新パール意匠メラミン化粧板」は独自技術により、従来品に比べ輝度が高く、深み感のある意匠を実現しました。

今後は、不燃化粧材セラーへの展開で、より統一感のある住まい空間を提案してまいります。



アイカインドネシア社 新工場竣工

インドネシアやシンガポールなど東南アジア諸国では、高い経済成長を背景に住宅用や商業施設用として高品質なメラミン化粧板の需要が高まっています。

現在、インドネシアでは、アイカインドネシア社ブカシ工場が稼動していますが、今後の需要増加や「国際分業体制の強化」を目的に2014年3月、新工場(チカンベック工場)を建設いたしました。

これによりアイカインドネシア社の化粧板生産供給能力は、大幅に増強され、日本と同レベルの高いクオリティを持つ化粧板をグローバルに供給できることとなります。

アイカインドネシア社は、東南アジアでの主要な生産拠点として、一層重要な役割を担ってまいります。



女性目線で開発した 非住宅施設向けトイレ関連商品「L・SERIES(エル・シリーズ)」

「L・SERIES(エル・シリーズ)」は、平成24年4月に結成された女性社員を中心としたプロジェクトチームが開発した非住宅施設向けトイレ関連商品です。

メラミン化粧板や壁面材、トイレブース、洗面カウンターなどは、商業施設・交通施設・学校・オフィスビル・ホテルなど様々な施設のトイレに使われています。プロジェクトでは、これらの商品をお使いいただくなかでお客様から寄せられる声や、実際に使用される方からのご意見をもとに、これまでの男性の開発者では気づきにくいような女性ならではの視点が盛り込まれた商品開発を行いました。

「省スペース型の引戸ブース」は、引戸にすることで買物袋や大きめのバッグを持っていても出入りがスムーズにできます。「パウダーコーナー」はジグザグ状に一人ひとり別のスペースを設置することで、隣の人と視線がぶつかることはありません。また、「洗面カウンター」はコンパクトなサイズで、水栓や鏡に近づきやすく、水はね防止に配慮した設計になっています。

今後もトイレがより使いやすく、より快適な空間となるよう女性目線での商品開発を続けてまいります。

L・SERIES
エル・シリーズ



会社の概要

〔平成26年6月24日現在〕

プロフィール

- 社名 アイカ工業株式会社
- 本社 愛知県清須市西堀江2288番地
- 電話 052(409)8000(代表)
- 設立 昭和11年10月20日
- 資本金 98億9,170万円
- 事業所

〔生産拠点〕 本社工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県) 広島工場(広島県)

茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県)

〔開発拠点〕 R&Dセンター甚目寺研究所(愛知県)

R&Dセンター茨城研究室(茨城県)

R&Dセンター丹波研究室(兵庫県)

〔営業拠点〕 札幌支店 仙台支店 盛岡支店

東京支店 埼玉支店 横浜支店

千葉支店 北関東支店 宇都宮営業所

新潟営業所 名古屋支店 静岡支店

金沢支店 大阪支店 神戸支店

京都営業所 広島支店 岡山営業所

四国支店 福岡支店 鹿児島支店

■主要製品

〔化成品セグメント〕

外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

〔建装材セグメント〕

メラミン化粧板、化粧合板

〔住器建材セグメント〕

室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

■連結子会社

〔会社名〕 アイカインテリア工業株式会社(愛知県)

アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)

西東京ケミックス株式会社(東京都)

アイカインドネシア社(インドネシア)

テクノウッド社(インドネシア)

昆山愛克樹脂有限公司(中国)

瀋陽愛克浩博化工有限公司(中国)

愛克樹脂貿易(上海)有限公司(中国)

アイカ・ラミネーツ・インディア社(インド)

アイカベトナム社(ベトナム)

アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)

取締役・監査役および執行役員

〔代表取締役会長〕 渡辺 修

〔代表取締役社長〕 小野 勇治

〔専務取締役〕 伊東 善光

〔常務取締役〕 岩田 照徳

〔常務取締役〕 百々 聡

〔取締役〕 岩瀬 幸廣

〔取締役〕 大村 信幸

〔取締役〕 小瀬村 久

◎〔取締役〕 小倉 健二

〔常勤監査役〕 野田 近

〔常勤監査役〕 森 永博之

○〔監査役〕 松浦 洋

○〔監査役〕 加藤 正和

○〔監査役〕 浦部 康資

〔上席執行役員〕 岡田 賢児

〔上席執行役員〕 森 良二

〔上席執行役員〕 堀田 益之

〔執行役員〕 Per Haga(ペア ハガ)

〔執行役員〕 加藤 義久

〔執行役員〕 加藤 義昭

〔執行役員〕 村瀬 元康

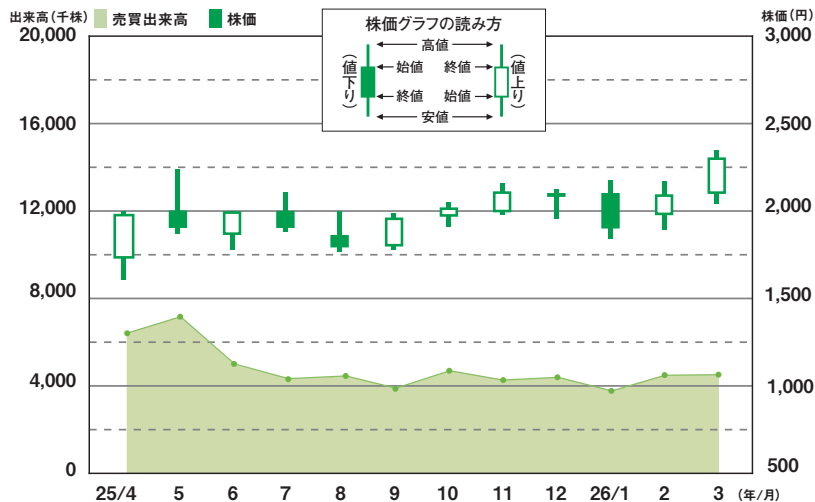
〔執行役員〕 石井 直美

(注)◎印は社外取締役、○印は社外監査役であります。

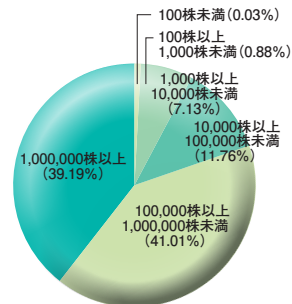
● 発行済株式の総数…67,590,664株

● 株主数…5,663名

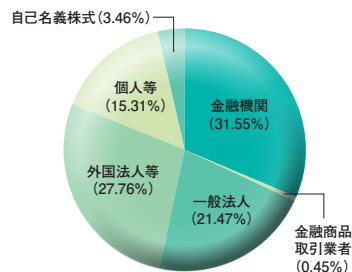
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



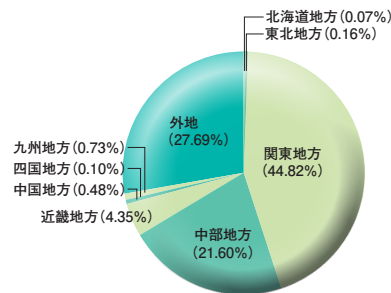
[所有株数別株式分布状況]



[所有者別株式分布状況]



[地域別株式分布状況]



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,850	5.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,082	4.72
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	2,307	3.54
アイカ工業取引先持株会	1,929	2.96
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	1,814	2.78
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,702	2.61
ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー) アカウント ノントリーティ	1,675	2.57
アイカ工業株式保有会	1,616	2.48
住友生命保険相互会社	1,318	2.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.99

※当社は、自己株式2,341千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
持株比率は、自己株式2,341千株を控除して計算しております。

株主メモ

■事業年度	4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■定時株主総会	毎年6月
■株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■特別口座管理機関	
■同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
■上場証券取引所	東京・名古屋
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.aica.co.jp/

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定* 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手続き書類のご請求方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/ </div>

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

住まい空間を演出する

AICA



地球温暖化防止活動の一環として、この印刷物を作成する際に排出されたCO₂は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じ、国連で認証された排出権（CER：インド国 Himachal Pradesh 州 Mandi 地区の水力発電事業）によりカーボンオフセットされています。

